



証券コード：2384


株主メモ

事業年度 1月1日～12月31日
 定時株主総会 毎年3月開催
 基準日 期末配当金 12月31日
 株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
 三菱UFJ信託銀行株式会社
 同連絡先 〒137-8081
 東京都江東区東砂七丁目10番11号
 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
 0120-232-711 (通話料無料)
 同取次所 三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店
 公告方法 公告掲載URL <http://www.sbs-group.co.jp/>
 ※ただし、電子公告によることができない事故、
 その他のやむを得ない事由が生じたときには、
 日本経済新聞に公告いたします。


株主の皆様の声をお聞かせください

当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。
 お手数ではございますが、下記の方法にてアンケートへのご協力をお願いいたします。


下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

 <http://www.e-kabunushi.com>
 アクセスコード：2384

Yahoo!、MSN、exciteのサイト内にある検索窓に、いいかぶと4文字入れて検索してください。


 kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入)アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。

アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間(2007年11月30日まで)です。
 ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝(図書カード500円)を進呈させていただきます

 ※本アンケートは、株式会社エーツメディアの提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。(株式会社エーツメディアについての詳細 <http://www.a2media.co.jp>) ※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます、事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

アンケートのお問い合わせ「e-株主リサーチ事務局」
 TEL:03-5777-3900 MAIL:info@e-kabunushi.com



中間報告書2007

2007年1月1日～2007年6月30日



SBSホールディングス株式会社

〒130-0012 東京都墨田区太平4-1-3 オリナスタワー
 TEL:03-3829-2222 (代表) FAX:03-3829-2822

SBSホールディングス株式会社

ミッションステートメント

Mission Statement

SBSグループは、クライアント企業の成長を支え、利益創造に貢献する事業インフラプロバイダーです。

企業活動はコア・コンピタンス(本業)と事業インフラ(付帯業務)に大別されます。SBSグループはクライアント企業が競争力の源泉であるコア・コンピタンスに経営資源を集中投資できるよう、あらゆるアウトソーシングニーズにワンストップで応える

体制を確立しました。それが、当社独自の斬新な企業コンセプト【事業インフラプロバイダー】です。SBSグループはこれからも物流を中核とする多彩なビジネスプラットフォームの提供を通じて、クライアント企業の成長と利益創造に貢献してまいります。

事業インフラとは…

- 企業が競争優位の源泉となるコア・コンピタンス (CORE-COMPETENCE) の創造活動に集中できるようにするための基本機能群。
- 事業推進の共通基盤となる専門業務や高いコスト効率求められる業務。



将来予測に関する記述についての注意事項

当情報誌の業績予想に関する記述および客観的事実以外の記述に関しましては、当社が現時点で入手可能な情報から得られた判断に基づいておりましたが、リスクや不確実性を含んでおります。従いまして、これらの記述のみに全面的に依拠して投資判断を下すことはお控えくださいますようお願い申し上げます。実際の業績は、当社の事業を取り巻く経済情勢、市場の動向、為替レートなどにかかわるさまざまな要因により、記述されている業績予想とは異なる可能性があることをご承知おきください。

グループ体制

Group Structure

人材事業

Human resources

「必要な時に、必要な人材を、必要なだけ」をコンセプトに、人材派遣や人材紹介等、「総合人材サービス」を展開しています。

- SBSスタッフ(株)

物流事業

Logistics

3PLから低温物流、国際物流、引越まで、クライアント企業のあらゆる物流ニーズに、一貫したサポート体制とシステム構築力に対応しています。

- SBSロジテム(株) ●フーズレック(株)
- ティーエルロジコム(株) ●(株)ダック
- (株)全通

マーケティング事業

Marketing

月間平均取扱い通数1,400万通におよぶマーケティングをはじめ、配送物の企画・制作、データベースマーケティング、Webサイト構築、広告代理など幅広いサービスを提供しています。

- SBSポストウェイ(株) ●(株)フォワード
- (株)ばむ

環境事業

Environmental services

関東圏トップレベルの処理能力を有する産業廃棄物処理施設を有し、産業廃棄物の回収と中間処理業務ならびにリサイクルを通じて環境負荷の低減に貢献しています。

- (株)総合物流システム

金融事業

Financial services

倉庫やオフィスビルなど不動産の証券化、流動化業務を行うアセットマネジメント事業のほか、クライアント企業への金融サポートも行っていきます。

- (株)エーマックス

情報事業

Information technologies

3PL物流システム、基幹業務システムなどの構築を通じて、クライアント企業の情報ニーズに最適なITソリューションで応えています。

- (株)AT&C
- (株)シーエスネット(持分法適用関連会社)

※記載グループ企業名は、主要連結子会社のみ記載しております。

株主の皆様へ

To Our Shareholders

「究極の3PL」の実現をめざして、グループシナジーの最大化と内部管理体制の強化に取り組んでいます。

当中間期におけるわが国経済は、堅調な企業収益を背景に、景気は回復基調を維持しました。しかし、当社グループが軸足を置く物流業界では、原油価格の高騰やタイトなドライバー需給、環境対策に伴うコスト増といった厳しい状況が続きました。また国内物流需要が鈍化するなかで、企業間競争が一層激しさを増してきました。

こうした経営環境のもと、当社グループはクライアント企業のノンコア事業のすべてをワンストップで供給する「事業インフラプロバイダー」として、サービスの高度化と業務の効率化に取り組ましました。

当社グループはいま、物流からマーケティングまで一気通貫したサービスを提供する体制を確立するとともに、資金調達や倉庫開発、WMS開発などの専門的なソリューションを提案していく「究極の3PL」を実現し、わが国の物流業界に新たな地平を切り拓こうとしています。この目標に向け、全社的な業務改善活動を推進すると同時に、グループシナジーの最大化を図るために各社間の協働体制を強化しています。また日本版SOX法への対応を中心とする内部管理体制の高度化にも全力で取り組んでいます。

わが国の物流業界は今後も厳しい状況で推移すると思われませんが、SBSグループは他社の追随を許さない革新性と総合力を駆使して、持続的な成長と企業価値の向上を実現してまいります。

株主の皆様には、今後とも変わらぬご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長
鎌田 正彦

株主アンケートへのご協力をお願い

弊社では、株主の皆様のお声をお聞かせいただくため、アンケートを実施しています。本書裏表紙にアンケートサイトへのアクセス方法が記載されております。ご協力よろしくお願いいたします。

営業の概況

Review of Operations

概況

当社グループは中核事業である物流を中心に概ね順調に推移しましたが、内部管理体制強化のためのコスト増加により、中間期の連結業績は、売上高66,264百万円（前中間期比5.1%増）、経常利益1,925百万円（前中間期比5.7%減）と増収減益となりました。また貸付債権の取立て不能等の一過性の損失計上により中間純利益は718百万円（前中間期比24.7%減）にとどまりました。下期は物流事業の好調に加え、7月に売却した大宮センタービルが売上、利益に大きく寄与することから、通期では当初の見通しどおり増収増益が達成できると予想しております。

セグメント別概況

当社グループの中核である物流事業については、取り巻く環境が厳しい中、積極的な営業展開が奏功し、売上高は57,597百万円（前中間期比5.3%増）、営業利益は1,259百万円（前中間期比15.4%増）と増収増益を確保しました。

マーケティング事業につきましては、郵政民営化を目前に控え、大手業者間での競争が激化しており、売上高は5,505百万円（前中間期比1.2%減）、営業利益は126百万円（前中間期比24.6%減）と業績は伸び悩みました。

人材事業につきましては、短期労働者の減少や競争の激化等に

より、登録スタッフの確保が困難な状況であります。積極的な拠点増設等により、売上高は2,820百万円（前中間期比10.1%増）、営業利益は150百万円（前中間期比33.0%増）と増収増益を達成しました。

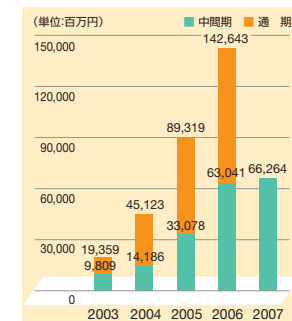
金融事業につきましては、昨年末に大宮センタービルの一部を売却した影響で、売上高は384百万円（前中間期比63.3%増）、営業利益は99百万円（前中間期比49.0%減）と増収減益となりました。下期には7月に大宮センタービルの残り持分の売却を行ったことに加え、京田辺市に西日本ロジスティクスセンターが稼動したことにより、大幅な増収増益が見込まれております。

その他事業につきましては、情報事業の不振により、売上高は501百万円（前中間期比30.3%増）、営業利益は△147百万円（前中間期比87百万円減）となりました。

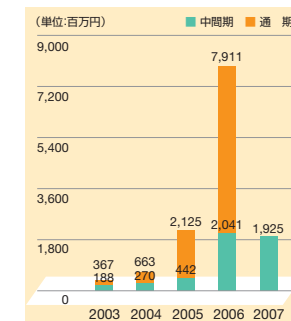
通期の業績見通し

本中間期におきましては、既述のとおり結果となりましたが、通期の業績見通しにつきましては、グループ内の組織再編及び経営資源活用によるシナジーの追求等により、収益力の更なる強化を図ってまいります。また、7月の大宮センタービルの残存部分の売却（12,500百万円）等により、2007年12月期通期の連結業績は、当初の業績予想のとおり、売上高145,000百万円、経常利益8,500百万円、当期純利益4,500百万円を見込んでおります。

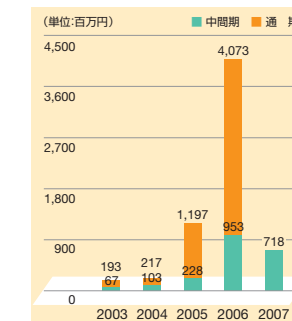
◎売上高



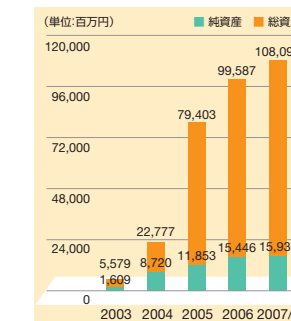
◎経常利益



◎中間(当期)純利益



◎純資産・総資産



SBSは設立以来一貫して次世代の物流の在り方を探求し、新たな提案を世に問い続けてきました。その近年における最大の成果のひとつが、最先端のWMS(倉庫管理システム)です。この新システムを大型複合物流施設に導入することによって、物流センター業務における商品管理の効率化と低コスト化が飛躍的に進化しました。

当社グループのWMSの特徴は、入庫から出庫までを完全にコンピュータによって制御することによって、仕分けから配送までの精度を格段に向上させている点です。たとえば家電量販店の物流センターの場合、さまざまな電機メーカーから送られてきた商品に付されているバーコードは、入庫時に家電量販店の商品データに瞬時に変換され、出庫までそのデータに基づいて管理されていきます。AI(人工知能)技術を応用したこのWMS

によって、種類やサイズの異なる数十万アイテムに及ぶ商品を、多数の仕向地(店舗)にベストタイミングで発送することが可能になりました。また、異なる温度帯の商品にも対応するWMSとして取扱いの難しい、冷凍・冷蔵品と常温品を混在して扱う業界向けにも対応してまいります。

当社グループではさらに、物流センター業務だけでなく、その前後の工程である需要予測、生産管理、車両管理などの各システムを含めて一元化したロジスティクス統合ソリューション『GENESIS』シリーズの開発に着手いたしました。従来型のWMSと異なり、システム管理サーバを個別のセンターではなくSBSグループデータセンターに設置するため、情報セキュリティの向上とコストの大幅削減に貢献します。

WMS 倉庫管理システム



※SBSの場合はさまざまな製品を扱う為、システムに汎用性があるのが最大の特徴。

1 商品を行き先別に自動仕分け

物流センターに搬入される商品のデータは、センター内のコンピュータサーバに登録され、搬入当日の朝までに受入口の端末に送られます。さまざまなメーカーから配送されてきた数十万点に及ぶ商品は、それぞれにクライアント企業のバーコードが貼付され、コンピュータ制御によって、あるものは保管倉庫へ、あるものはA量販店へ、あるものはB小売店へ…と自動的に仕分けされます。



2 ピッキング 電光表示で数量管理

ひとつの梱包に同種の商品が多数収められている場合は人間による仕分けを必要としますが、その場合も行き先別の保管ケースに数量が表示され、規定数量の場合のみOKサインが出る仕組みになっています。また、保管された多品種の商品をケースから取り出し行き先別に箱詰めするピッキングでも、スタッフはコンピュータの指示に従って作業できるため誤納を未然に防ぐことが可能になっています。



3 3温度帯に対応する これからの保管倉庫

入荷された商品のうち、一定期間保管する必要があるものは、通過型の倉庫とは別に設置された保管倉庫へと送られます。現在は、冷凍・冷蔵品と常温品は異なる物流センターで管理していますが、SBSグループが今後開発を進める物流施設において同一の建屋で3温度帯の商品管理も可能になります。異なる温度帯の商品を同時出荷することにより、冷凍・冷蔵品の品質管理が大きく前進します。



新しい物流センターが完成しました



<p>川越物流センター支店 (平成19年9月4日竣工)</p>		<p>所在地 川越市大字赤坂1822-1</p>
敷地面積	32,665.82m ² (9,881.41坪)	<p>構造 耐火構造地上4階建 柱/1~3階RC造 4階鉄骨造 梁/鉄骨造</p>
建築面積	15,756.30m ² (4,766.28坪)	
延床面積	47,770.84m ² (14,450.67坪)	

中間連結財務諸表(要旨)

Consolidated Financial Statements

中間連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

科目	当中間期 2007年6月30日現在	前中間期 2006年6月30日現在
【資産の部】		
流動資産	41,252	26,653
固定資産	66,838	63,867
有形固定資産	55,431	48,494
無形固定資産	1,062	460
投資その他の資産	10,343	14,912
資産合計	108,091	90,521

(単位:百万円)

科目	当中間期 2007年6月30日現在	前中間期 2006年6月30日現在
【負債の部】		
流動負債	51,476	37,601
固定負債	40,678	39,956
負債合計	92,154	77,558
【純資産の部】		
株主資本	15,686	12,109
資本金	3,833	3,833
資本剰余金	5,418	5,418
利益剰余金	6,522	2,946
自己株式	△88	△88
評価・換算差額等	△138	507
その他有価証券評価差額金	△138	507
新株予約権	3	3
少数株主持分	385	342
純資産合計	15,936	12,963
負債・純資産合計	108,091	90,521

中間連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	当中間期 2007年1月1日から 2007年6月30日まで	前中間期 2006年1月1日から 2006年6月30日まで
売上高	66,264	63,041
売上原価	60,058	56,940
売上総利益	6,205	6,100
販売費及び一般管理費	4,899	4,718
営業利益	1,306	1,382
営業外収益	974	881
営業外費用	355	221
経常利益	1,925	2,041
特別利益	815	115
特別損失	945	515
税金等調整前中間純利益	1,796	1,641
法人税、住民税及び事業税	1,102	1,075
法人税等還付額	△31	-
法人税等調整額	△141	△409
少数株主利益	148	21
中間純利益	718	953

中間連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	当中間期 2007年1月1日から 2007年6月30日まで	前中間期 2006年1月1日から 2006年6月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	△3,280	2,997
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,532	△9,920
財務活動によるキャッシュ・フロー	9,590	7,462
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2	0
現金及び現金同等物の増減額	△221	538
現金及び現金同等物の期首残高	7,242	7,000
現金及び現金同等物の中間期末残高	7,018	7,539

中間連結株主資本等変動計算書 当中間期(2007年1月1日から2007年6月30日まで)

(単位:百万円)

	株主資本					評価・換算差額等		新株予約権	少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計			
2006年12月31日 残高	3,833	5,418	6,065	△88	15,229	△114	△114	3	328	15,446
中間連結会計期間中の変動額										
剰余金の配当	-	-	△261	-	△261	-	-	-	-	△261
中間純利益	-	-	718	-	718	-	-	-	-	718
株主資本以外の項目の 中間連結会計期間中の変動額(純額)	-	-	-	-	-	△24	△24	-	57	32
中間連結会計期間中の変動額合計	-	-	456	-	456	△24	△24	-	57	489
2007年6月30日 残高	3,833	5,418	6,522	△88	15,686	△138	△138	3	385	15,936

個別財務諸表(要旨)

Non-Consolidated Financial Statements

個別貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

科目	当中間期 2007年6月30日現在	前中間期 2006年6月30日現在
【資産の部】		
流動資産	7,840	10,628
固定資産	33,941	30,802
有形固定資産	1,267	1,109
無形固定資産	260	48
投資その他の資産	32,413	29,643
資産合計	41,782	41,430
【負債の部】		
流動負債	12,978	13,440
固定負債	20,073	18,503
負債合計	33,052	31,943
【純資産の部】		
株主資本	9,483	9,479
資本金	3,833	3,833
資本剰余金	5,163	5,163
利益剰余金	485	482
評価・換算差額等	△752	7
その他有価証券評価差額金	△752	7
純資産合計	8,730	9,486
負債・純資産合計	41,782	41,430

個別損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	当中間期 2007年1月1日から 2007年6月30日まで	前中間期 2006年1月1日から 2006年6月30日まで
営業収益	1,806	971
営業費用	777	669
営業利益	1,028	302
営業外収益	152	185
営業外費用	195	122
経常利益	985	365
特別利益	123	9
特別損失	885	142
税引前中間純利益	223	231
法人税、住民税及び事業税	1	1
法人税等還付額	△26	-
中間純利益	247	229

個別株主資本等変動計算書 当中間期(2007年1月1日から2007年6月30日まで)

(単位:百万円)

	株主資本			株主資本合計	評価・換算差額等		純資産合計
	資本金	資本剰余金 資本準備金	利益剰余金 その他利益剰余金 繰越利益剰余金		その他有価証券 評価差額金	評価・換算差額等 合計	
2006年12月31日 残高	3,833	5,163	499	9,497	△714	△714	8,782
中間会計期間中の変動額							
剰余金の配当	-	-	△261	△261	-	-	△261
中間純利益	-	-	247	247	-	-	247
株主資本以外の項目の 中間会計期間中の変動額(純額)	-	-	-	-	△38	△38	△38
中間会計期間中の変動額合計	-	-	△14	△14	△38	△38	△52
2007年6月30日 残高	3,833	5,163	485	9,483	△752	△752	8,730

会社概要 & 株式の状況

Corporate Profile & Stock Information

会社概要 (2007年6月30日現在)

社名 SBSホールディングス株式会社
 代表取締役 鎌田 正彦
 創立 1987年12月16日
 資本金 38億3,393万円
 売上高 1,426億円(2006年12月期連結決算実績)
 所在地 〒130-0012 東京都墨田区太平4-1-3
 TEL: 03-3829-2222 (代表)
 FAX: 03-3829-2822
 事業内容 物流事業、マーケティング事業、人材事業 他
 主要連結子会社 SBSロジテム(株)、フーズレック(株)、(株)ダック、テ
 イエルロジコム(株)、(株)全通、SBSポストウェイ(株)、
 (株)ぱむ、(株)フォワード、SBSスタッフ(株)、(株)
 AT&C、(株)エーマックス、(株)総合物流システム
 持分法適用関連会社 (株)シーエスネット

役員 (2007年6月30日現在)

代表取締役社長 鎌田 正彦 常勤監査役 水谷 宣一
 常務取締役 入山 賢一 監査役 米田 樹一
 取締役 大内 純一 監査役 正松本 重孝
 取締役 横澤 由喜朗

監査役のうち、水谷宣一、正松本重孝は社外監査役です。

ホームページのご紹介



IR情報、IRに関するお問い合わせに当社ホームページをご活用ください。
<http://www.sbs-group.co.jp>

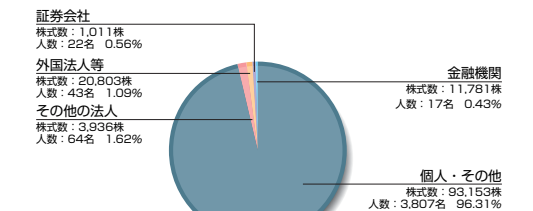
株式の状況 (2007年6月30日現在)

発行可能株式総数 515,684株
 発行済株式の総数 130,684株
 単元株制度の有無 無
 株主数 3,953名

大株主の状況

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
鎌田 正彦	64,128	49.07
バンクオブニューヨークジーシーエム クライアントアカウントツイーアイエスジー	8,825	6.75
モルガンスタンレーアンドカンパニー インターナショナルリミテッド	4,111	3.14
大内 純一	3,094	2.36
野村信託銀行株式会社(信託口)	2,650	2.02
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	2,636	2.01
SBSホールディングス従業員持株会	2,352	1.79
吉岡 博之	1,889	1.44
ゴールドマン・サックスインターナショナル 常任代理人 ゴールドマン・サックス証券株式会社	1,604	1.22
株式会社スリーイーコーポレーション	1,560	1.19

所有者別株式分布状況



所有株数別株主分布状況

